

地域の力を合わせて災害に備えましょう

災害の発生から72時間が、生存者を救助できるタイムリミットだといわれています。

大規模な災害時には、消防車や救急車がすぐに駆けつけてくれるとは限りません。

そんな時は、隣近所が大きな力になります。

阪神淡路大震災では生還した人のうち、約60%が家族や隣近所に助けられた人でした。

地域みんなまで助け合うことが大切です。



良好な近所つきあいが防災の備えの第一歩

日ごろから隣近所と交流し、良好なコミュニケーションを保つことが大切です。自分でできること、できないことを明らかにして、「必要な支援」を周囲に伝えておきましょう。



地域で開催される行事や防災訓練などに参加しましょう

地域で開催される行事に参加し、地域と良好な関係をつくりましょう。

また、防災訓練に参加することで、災害が発生したときに、どのような行動をとればよいか、日ごろから考えておきましょう。



地域で危険箇所の点検・確認をしましょう

災害が起こった際に、地域にどのような危険が潜んでいるかをみんなで確認し、情報の共有を図りましょう。

そして、地域で起こりうる危険に対処し、どう対処したらよいか一緒に考え、備えに組み込みましょう。



【問い合わせ先】
危機管理課 ☎24-1742

文化財

木造十一面観音立像 1軀
国指定重要文化財（彫刻）
瑞龍寺所有



本像は、肱川河口左岸の沖浦地区に位置する瑞龍寺に安置され、毎年4月17日にのみ御開帳される仏像です。

もともとは、平清盛の娘が父の菩提を弔うため、下関（山口県）の阿弥陀寺から清盛寺（内子町）に寄進したものです。その後、盤珪永琢の手を経て、大洲藩3代藩主加藤泰恒が現寺に祀ったと伝えられています。

高さ1m63cmにもなる一木造の立像は、やや長い綺麗な面相で、写実的な美しいプロポーションをとっていて、藤原時代（平安時代）初期の作品の特徴をよく表しています。作家の井上靖さんは、若き新聞記者時代（昭和15年）に本像と出会って以来、十一面観音の美しさに魅せられたと約30年後に著した「美しきものとの出会い」に記しています。

平成27年度、瑞龍寺では国の補助金を活用して、貴重な文化財を盗難や災害から守るための防災施設事業が実施されました。

（大正元年9月3日指定）

野鳥

タヒバリ（田雲雀）
スズメ目 セキレイ科
全長16cm



タヒバリは、広い畑や田んぼで越冬しているセキレイの仲間です。ヒバリの名前が付いていますが、全くの別種で、ヒバリによく似ているため、名前が付けられたようです。しかし、お尻を上下に振りながら餌を捕っているしぐさは、セキレイそっくりです。

開けたすみかには隠れる場所がないため、とても地味な色合いをしていますが、繁殖地に帰る4月ころには、足や胸の一部がほんのり赤みを帯びて、夏羽にドレスアップします。

また、同じような仲間も多くいて、渡りの季節に注意していると、思わぬ珍客に出会う可能性もあります。

隙間産業という言葉がありますが、まさに自然界はそのもので、他の種類や生き物と競合しない独自の生き方で繁栄してきました。先詰まり感がある現代、人間社会も見習う事は必ずあるような気がします。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

おおずの女性 ～輝いて今～

今こそ女性活躍の時

大洲市連合婦人会大会

平成27年度大洲市連合婦人会大会が3月3日(木)、肱南公民館で開催されました。

三好康子会長は「現在、男女共同参画の機運が高まり、女性の活躍機会が増えている。地域に密着した活動を続けてきた私たち婦人会の活動が、地方創生と相まって、ますます重要になると思う。女性ならではの感性を生かし、今後もみなさんと力強く歩んでいきたい」とあいさつされました。

連合婦人会各部による27年度事業報告の後、大成婦人会から地域における婦人会活動について、大洲婦道会からはハンセン病問題に



対する研究発表と研究協議が行われました。

その後、酒井史朗南予教育事務所社会教育課長による「今こそ、婦人会の出番です！」と題した記念講演が行われました。講演では、婦人会活動が認知症予防、子どもの命を守ること、家庭教育や婚活などさまざまな分野で有効であるとの話があり、会員は婦人会活動のあり方について理解を深めました。

およそ120人が参加した会場からは時折笑い声も上がり、終始温かな雰囲気にも包まれていました。

えひめ国体・えひめ大会を盛り上げよう

今年、えひめ国体の競技別リハーサル大会が開催されます。平成29年に開催されるえひめ国体に向けたリハーサル大会として、大洲市開催競技の各競技会が開催されます。全国各地からたくさんの選手、監督、役員が来県します。精一杯のおもてなしでお迎えし、競技会運営だけでなく、花いっぱい運動やクリーン活動なども行いながら、市民総参加でえひめ国体・えひめ大会を成功させましょう。

平成28年開催 第72回国民体育大会競技別リハーサル大会

| | | |
|----------------------------|------|---|
| ソフトテニス 7月30日(土)～31日(日) | 大会名 | 全日本実業団ソフトテニス選手権大会(女子第60回) |
| | 大会内容 | 実業団の女子16～18チーム(1チーム10人程度)の選手・監督が参加します。試合は、ダブルス3ペアを1チームとする団体戦で争われます。 |
| | 競技会場 | 八幡浜・大洲地区運動公園テニスコート |
| ソフトボール 9月17日(土)～19日(月) | 大会名 | 第62回全日本総合男子ソフトボール選手権大会 |
| | 大会内容 | 実業団・クラブ・教員・大学の男子32チーム約800人の選手・監督が参加します。八幡浜市との共同開催で、大洲市では、全31試合中7試合が行われます。 |
| | 競技会場 | 八幡浜・大洲地区運動公園野球場 |
| カヌースプリント 11月5日(土)～6日(日) | 大会名 | 西日本カヌースプリント大会 |
| | 大会内容 | 四国・中国・九州・近畿ブロック(中学2年生から高校3年生)の選手・監督約170人が参加します。男子4種目、女子3種目が行われます。 |
| | 競技会場 | 鹿野川湖特設カヌー競技場 |

ンダンクンダンク※ JICAセネガル通信 No.4

※ウォロフ語で「少しづつ」の意味

青年海外協力隊 藤本 顕允^{あきまさ}さん

アッサラマレイクム(ウォロフ語で「こんにちは」の意味)。青年海外協力隊として西アフリカのセネガルで活動している藤本顕允です。

遅ればせながら明けましておめでとうございます。セネガルでも無事に2016年を迎えることができました。セネガルでの年越しは、カウントダウンもなく淡々と過ぎました。所々で爆竹が鳴り響いていましたが、日常とほぼ変わらない様子だったので拍子抜けしました。前回紹介したイスラム新年(タマハリ)の方が、現地の人たちにとっては「節目」だと感じました。元日に同任地の隊員と作ったお餅が、セネガルの人たちには不評だったのは残念です。

セネガルの世界遺産

現在、セネガルには7つの世界遺産があります。休日を利用してそのうちの1つである、サンルイ島を訪ねました。

かつてセネガルがフランスの植民地だった時代の建造物が多く残っていて、セネガルにながら、ヨーロッパにいるような感覚になります。海外からの観光客も多く、セネガルの重要な観光資源となっています。

しかし、中心地から離れると、いつも目にはしている、にぎやかで雑多な生活風景が広がっています。ヨーロッパとセネガルが同居する不思議な空間でしたが、自分の任地に帰ってきてホッとした私

は、セネガルでの生活にすっかり馴染んでいるようです。ご飯の前には手を洗おう

村落部の学校で実施されている給食プロジェクトに合わせて、給食を作る村の女性と、小学生を対象に手洗い方法を指導しました。ポリタンクに穴を開けただけの簡易な手洗い装置を作り、せっけん(ない場合は炭)を使って手洗いをしよう呼びかけました。

手洗い装置が意外に好評で、「日本の技術は素晴らしい」と言ってもらえました。

世界に飛び出そう

みなさんも協力隊として海外で活動してみませんか。4月1日(金)から協力隊の春募集が始まります。4月10日(日)には、募集説明会も開催されます。少しでも興味のある人は、JICA愛媛デスク(☎089・917・5678)にお問い合わせください。(現地時間2016年2月21日・セネガル生活412日目)



手洗い風景

大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

3月26日(土)、えひめいやしの南予博2016のオープニングイベントが行われました。今後行われるイベントをまとめたサイトも立ち上がり、随時情報が更新される予定です。

大洲市実行委員会では、「おおず〇〇〇 みつけにきませんか…セピア色の風景」をキャッチコピーに、イベントを行う予定です。大洲以外の各地域でも、さまざまなイベントが実施され、今、南予が注目されています。

【今月のクイズ】

えひめいやしの南予博大洲編の「おおず〇〇〇 みつけにきませんか…セピア色の風景」の〇〇〇に入る言葉は何でしょうか。

- ① 華回廊
- ② ものがたり
- ③ いやし旅



【先月号のクイズの解答・解説】

鹿野川ダム洪水吐トンネルフリーウォーキングの参加者は、何人だったでしょうか。

- ① およそ800人
- ② およそ1,000人
- ③ およそ1,200人

解答…③

解説…鹿野川ダム洪水吐トンネルフリーウォーキングには、市内の人はもちろんですが遠くは北海道や神奈川県から来た人もいたそうです。順番待ちの行列は200m近くに達し、入場まで約2時間の待ち時間が生じました。

工事の関係上、今後、トンネル内に入ることは難しいということですが、鹿野川ダムでは随時見学会を実施しているそうなので、今しか見られない工事現場を、ぜひ見に行ってみてはいかがでしょうか。



※今月のクイズの答えは、広報大洲5月号に掲載します。



3月3日(木)

川面に願いをのせて ～ひな流し～

肱川・河辺幼稚園児と肱川支部老人クラブによるひな流しが、肱川支所裏の河原で行われました。

園児たち手づくりのひな人形に、それぞれの願いを込めて川に流しました。

その後行われた交流会では、みんなでカレーライスを食べ、輪になっておひなさまの歌を歌い、桃の節句のお祝いをしました。



2月21日(日)

熱気に満ちあふれる発表 ～第35回芸能発表会～

大洲市文化協会長浜支部主催の第35回芸能発表会が、長浜ふれあい会館にて開催されました。

地域内で活動している団体が出演し、歌、踊り、伝統芸能など21の演目を披露しました。

プログラムの最後には、出演者と観覧者全員で「大洲市民の歌～100年後僕らは…大洲より～」を合唱し、感動のフィナーレとなりました。



3月6日(日)

春の暖かさを感じました ～第17回しおかぜウォークなのはな大会～

四国旅客鉄道株式会社松山駅主催の「第17回しおかぜウォークなのはな大会」が開催されました。

この日は、時折強風が吹いたものの、気温は4月下旬並みの暖かい日となりました。

伊予長浜駅から伊予上灘駅までの16kmの行程で、満開の菜の花を見たり記念撮影をして、ウォーキングを楽しみました。



2月23日(火)

ふるさとの懐かしい味を全国へ ～第29回まめいりパック出発式～

旬を愛する会では、日本中の子どもたちに手作りの味を食べてほしいという願いを込めて、今年もまめいりパックを全国に発送しました。

Aセットには、まめいり（しょうゆ味・しょうが入り・のり入り）、クッキー、あま酒が入っています。Bセットには、Aセットの中身に加えて大洲和紙貝ひなが入れられています。

長年の取り組みに感謝状

長年にわたりアルミ缶リサイクル活動を行い、特に顕著な取り組みがあったとして、大洲ジュニアタイガース（藤枝飛雄馬監督・部員16人）がアルミ缶リサイクル協会（東京都）から感謝状を贈呈されました。

大洲ジュニアタイガースでは、平成19年から各家庭や活動で出たアルミ缶や段ボール、新聞、雑誌のリサイクル活動を実施されています。リサイクルで得られた収入は、必要な用具の購入などに充てられ、野球を通じて児童の健全育成に役立てられています。



伝統工芸士に認定証

伝統工芸品を手掛ける優れた技術者を顕彰する「えひめ伝統工芸士」の認定証授与式が、2月18日（木）、県庁で行われ、有限会社長浜木履工場代表取締役福本紀孝さんが認定を受けました。

福本さんは「今回の認定で、日本の文化である下駄が生き残るためのきっかけをもらえたことを、大変うれしく思う。伝統を守りながら、新しい事にも挑戦したい。私の認定により、下駄を履いてもらえる若い人が増えればうれしい。これからも、日本文化の良さを

を伝え、良いものを残していきたい」と喜びと決意を話されました。



読書感想画中央コンクール入賞

第27回読書感想画中央コンクールで、平小学校の向井陽葉さん（5年生）が小学校高学年の部で優秀賞を受賞しました。

読書感想画コンクールは、読書の感動を絵画で表現することにより、児童・生徒の読書力、表現力を養い、読書の活動を振興することを目的としています。

受賞した向井さんは、「受賞の話を聞いた時は、とてもびっくりして夢のようだった。受賞はとてもうれしい。将来、イラストレーターか漫画家になりたいと思っている。これからも、夢に向かって、絵の勉強をしたい」と受賞の喜びと抱負を話されました。



如法寺の魅力が詰まったガイドブック出版

3月1日（火）、如法寺のガイドブック「大洲黎明の禅寺 如法寺」が出版されました。

このガイドブックでは、国指定重要文化財である如法寺の自然や文化遺産を写真で紹介するなど、如法寺の魅力に迫っています。また、保存修理で明らかになった特徴や、大洲藩2代藩主加藤泰興や盤珪禅師の人物像、エピソードなども掲載されています。

ガイドブックは、1冊1,500円で、観光まちづくり課、各支所、博物館、県内の主要書店、インターネットで購入することができます。



【問い合わせ先】

観光まちづくり課

☎24-1717



大洲市清和園が改築されました

養護老人ホーム大洲市清和園の建て替え工事が終了し、2月8日(月)、竣工式が行われました。

清和園は、建設から40年以上が経過し、施設の老朽化や耐震安全性の問題などに伴い、平成26年10月から改築工事が行われていました。

新施設は、大洲産の木材を使用した木造一部2階建て、延べ床面積は、旧施設の約2・5倍の2252平方メートル。旧施設では、4畳半の部屋を2人で使用していました。新施設では、6畳半の個室が50室あり、入所者のプライバシー

にも配慮した施設となっています。

また、今回は施設内外の完全バリアフリー化を図りました。ほかにも、地震や火災、土砂崩れなどの災害対策にも力をいれています。太陽光発電設備やLED照明器具の設置、木質ペレットボイラーを導入し、地球環境にもやさしい施設になっています。

2月9日(火)午後には、入所者のみなさんが仮設施設から引っ越しを行い、新施設での生活がスタートしました。

平成27年度 大洲市人権・同和教育研究大会

平成27年度大洲市人権・同和教育研究大会が、2月19日(金)に、国立大洲青少年交流の家で開催されました。

市ならびに市教育委員会は、平成26年10月に、「大洲市人権・同和教育基本方針」を策定しました。その中で、「同和教育をはじめとする様々な人権問題の解決を目指す人権・同和教育を推進する」とうたっています。

この方針に基づいて、午前中は5つの分科会において10本の実践報告がありました。参加者の熱心な協議がなされ、あらゆる差別解消への意欲を新たにしました。差別のない社会こそが住みよい地域であり、誇りのもてるふるさとです。



午後は、ノンフィクションライター^{かどおかのぶひこ}角岡伸彦さんの講演がありました。講演内容の一部を紹介します。

「明治4年にいわゆる『解放令』が出されてから145年になりますが、いまだに部落差別は解消されていません。昭和44年に同和対策事業特別措置法が制定されてから、部落差別は解消に向けて大きく改善されてきました。今日では、部落外の人との結婚が多くなっていますが、インターネットへの悪質な書き込みなどもあり、決して楽観はできません。

今日はみなさんに、私の地元で伝わる保存食である「さいぼし(馬の干し肉)」を食べていただきました。これで、みなさんと私は、さいぼしという食文化を共有した関係者になりました。差別をなくすには、このような関係者づくりを100通りも1,000通りも実践することです。言い換えれば、お互いの関わりが、差別のない社会へとつながるのです」



大洲ええモンセレクション首都圏商談会を開催

制度創設4年目を迎えた大洲ええモンセレクションは、平成27年度に16事業者、39品目が認定され、認知度の向上、流通拡大、地域産品の活性化などを目指して、認定品を通して市のイメージアップや誘客に取り組んでいます。

平成27年度は、首都圏を中心に営業戦略を立て、「巢鴨地蔵通り商店街」、「高級スーパー」紀ノ國屋国立店、「横浜高島屋」などで市場ニーズ調査やイベント販売を行いました。また、松山市内では「県内お披露目会」を実施するなど、大洲のええモンを売り込んできました。

さらに今年1月には、愛媛県東京事務所や伊予銀行の協力のもと、伊予銀行東京支店を会場に、



首都圏での販路開拓を目指す認定9事業者が、趣向を凝らした商品プレゼンや試食提供を行い、訪れたバイヤー約20社と熱心に商談を繰り広げました。

2月には、東京ビッグサイトを会場とした「スーパーマーケット・トレードショー2016」で、大洲市単独ブースを出展しました。来場した約9万人のバイヤーなどに対して、参加した7事業者は商品の特長や取引条件など試食を交えて数多く商談し、成約に結び付けていると報告です。

今後も、大洲ええモンセレクションが、全国のみなさんに愛され親しまれるブランドになるよう取り組みます。



愛される地域ブランドへ

3月4日(金)、平成25年度から取り組まれてきた「乾しいたけ食のモデル地域育成事業」の成果報告会が、リジェール大洲で開催されました。

主催者あいさつで清水市長は「四国一の生産量を誇る乾しいたけを、ブランドとして育てることが地域活性化につながる。これからも努力を続けることで、地域のしいたけをみなさんと販売していきたい」と述べました。その後、事業成果報告と加工品の試食が行われました。

一定の基準を満たした肱川流域の原木乾しいたけは「愛媛原木旨味しいたけ」ブランドとして、今後全国に情報発信や販路開拓が進められます。



大洲産クリをブランド化

2月15日(月)、大洲まるごと栗イヅム推進委員会・ワーキング合同会議ならびに試食披露会が、市役所で開催されました。

推進委員会・ワーキング合同会議では、大洲産のクリを使った商品の首都圏試食販売モニタリング調査結果が報告されました。

試食披露会では、2年前から地元企業が試行錯誤を繰り返し商品開発に取り組んできた、和・洋菓子や加工食品など新商品8品が紹介されました。

同委員会では、今後も、四国一のクリの産地であることをPRするとともに、大洲産クリの知名度アップに取り組むことにしています。



全国からの選手を応援するために

現在、平成29年度に開催される「愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会」と、今年度開催される「競技別リハーサル大会」の会場に設置し、選手や関係者のみなさんを応援する応援のぼり旗の作製をしています。

大会への市民の関心を高めるため、市内の全小中学校に依頼して、約350枚の応援のぼり旗を作成する予定です。

2月23日(火)、大洲小学校(深井修一校長・児童302人)で6年生児童57人が、それぞれのイラストや応援の言葉を描いて、北海道や宮城県、栃木県、愛媛県など

10枚の心のこもった応援のぼり旗をつくりました。



春の始まりは歌声とともに

今回で21回目を迎える、大洲ふじかけコーラス主催の「春のコンサート」夢をかたちにくが、3月5日(土)、大洲市民会館で開催されました。

コンサートでは、大洲ふじかけコーラスのほか、大洲高校コーラス部やボーイズふじかけ、おおずオールドバンドなど6組が21曲を発表しました。

また、「どこかで春が」、「大洲市民の歌〜100年後僕らは〜大洲より〜」、「さようなら」の3曲を会場の全員で合唱し、出演者と観客が一体となっていました。



わがまちの自慢を30秒のCMで紹介

今回で11回目を迎える「ふるさとCM大賞えひめ2016」審査会が、3月6日(日)、松山市総合コミュニティセンターキャメリアホールで開催されました。

今回は、県内の各自治体から過去最多となる31作品の応募がありました。どの作品も、自分たちの住むまちの魅力を伝えようと、30秒にまとめたCMを作成していました。

大洲市からは、(一社)大洲青年会議所まちづくり委員会と坂本龍馬脱藩の道保存会の2団体から作品が提出され、大洲の特産品や観光スポット、脱藩の道の魅力を伝えました。



～ふるさとCM大賞えひめ2016審査会～





地域防災力の要として

〈平成28年大洲市消防出初式〉



平成28年大洲市消防出初式が、3月6日(日)に行われました。この日は降雨予報のため、大洲市民会館での開催となり、市内各地から1231人の消防団員が参加しました。

式典では、殉職消防職団員に対する黙とうを捧げた後、清水市長が「局地的な災害が頻発し、地域防災力の重要性が増大しているなか、消防団員の活動が中核的存在として、大きな役割を果たすことが期待されている。

今後、地域をあげてみなさんをバックアップし、安全で安心できるまちづくりに全力で取り組みたい」と式辞を述べました。

表彰では、活動に功績のあった団員などに表彰状や感謝状が贈呈されました。受章者を代表して予子林分団三瀬良治分団長が「今回の受章は、支えてくれた家族や、消防団活動への理解をいただいた職場のみなさんのおかげである。本日の感激を深く胸に刻み、地域住民の生命と財産を守るといふ、消防使命達成に向けて進んでいきたい」と謝辞を述べました。

また、出初式の音楽演奏は大洲北中学校吹奏楽部が担当し、式典に花を添えました。



今回の出初式で、表彰されたみなさんは次のとおりです。
(敬称略・一部省略)

消防庁長官表彰

永年勤続功労章(5人)

本部副団長 上満 万願寺直記
本部副団長 増岡 芳我亀代士
柳沢分団 分団長 大洲地区広域消防事務組合
粟津分団 分団長 大野 博史
消防監

日本消防協会会長表彰

功績章(1人)
本部副団長 矢野 正祥

精績章(4人)
肱南分団 分団長 福岡 宗延
平野分団 分団長 宮崎 宗延
新谷分団 分団長 松田 忠次
大和分団 分団長 日野 修次

勤続章(11人)
新谷分団 分団長 松田 忠次
上須戒分団分団長 古宅 守男
南久米分団分団長 上野 功男
大川分団 分団長 川内 律男
上須戒分団分団長 八幡 力大
上須戒分団分団長 上田 茂
長浜分団 部長 石田 満義
白滝分団 班長 山本 章一
岩谷分団 班長 和氣 敏
河辺分団 副分団長 往見 康範
河辺分団 副分団長 酒井 勇

愛媛県知事表彰

功労章(11人)

平野分団 副分団長 松本 喜吉
菅田分団 副分団長 西岡 裕一
大川分団 副分団長 山下 富茂
栗津分団 副分団長 楠野 明男
長浜分団 副分団長 浅井三月生
櫛生分団 副分団長 城戸 晴輝
白滝分団 副分団長 岡崎 浩幸
予子林分団分団長 三瀬 良治
女性分団 副分団長 國井 幸恵
大洲地区広域消防事務組合 國井 幸恵
消防司令 宮野 雅功
消防司令 二宮 功

愛媛県消防協会会長表彰

功績章(6人)

本部副団長 和左田壽栄重
菅田分団 分団長 岩井 輝満
三善分団 分団長 瀧本 良一
上須戒分団分団長 古宅 守男
櫛生分団 分団長 松田 裕之
中央分団 分団長 沖野 晃己
勤続章(20年以上 6人)
新谷分団 分団長 林 増大
白滝分団 分団長 二宮 基一
白滝分団 分団長 山田 昌悟
中央分団 分団長 松本 昌一
大谷分団 分団長 浜田 純規
大谷分団 分団長 宮崎 正規
勤続章(15年以上 18人)
肱南分団 班長 二宮 義広
肱北分団 班長 井上 俊洋
平野分団 班長 中野 将

南久米分団 団員 平田 聡
菅田分団 班長 松本 義次
大川分団 班長 新家 栄樹
柳沢分団 班長 宮岡 寛一
栗津分団 部長 池田 雄一
上須戒分団 班長 都築 孝壽
長浜分団 班長 武田 直人
櫛生分団 班長 石内 勝也
出海分団 班長 後藤慎太郎
大和分団 班長 菊地 信吾
白滝分団 班長 石山 徹
中央分団 班長 二村 正敏
大谷分団 班長 三浦 秀典
予子林分団 班長 渡邊 忍

勤続章(10年以上〜15年末満29人)

肱南分団 班長 梅林 洋介
肱南分団 班長 河野 達哉
肱北分団 班長 中岡 元生
肱北分団 班長 大野 昌範
平野分団 班長 山田 光治
南久米分団 班長 矢野 治
菅田分団 班長 上甲 眞人
菅田分団 班長 富永 周平
菅田分団 班長 中野 洋吉
大川分団 班長 谷井 克男
大川分団 班長 増本 幸男
大川分団 班長 山崎 謙二
柳沢分団 班長 作森 達也
新谷分団 班長 竹田 亮平
新谷分団 班長 大隅 久幸
三善分団 班長 中家 健一
栗津分団 班長 榎田 武徳
上須戒分団 班長 岡田 豊
長浜分団 班長 中川 久徳
長浜分団 班長 喜多灘分団 班長 山根 久雄

大洲市消防団長表彰(35人)

規程章(20人)
勤続章(49人)

大洲市長表彰(55人)

優良団体表彰(2団体)
大洲市消防団員(2組)
親子消防団員(2組)
本部副団長 中川 一夫(親)
大川分団 分団員 中川 太志(子)
河辺分団 班長 中川 久志(親)
河辺分団 班長 久志(親)
河辺分団 班長 露内 久志(子)
河辺分団 班長 露内 大介(子)

大洲市消防団員(35人)
榎生分団 班長 田中 幸浩
大和分団 班長 藤田 豊久
白滝分団 班長 谷淵 秀典
中央分団 班長 沖野 三三
正山分団 班長 安川 知則
大谷分団 班長 高尾 祐治
岩谷分団 班長 二宮 悟光
河辺分団 班長 岡崎 雅行
河辺分団 班長 森 茂
河辺分団 班長 森 雅行
菅田分団 班長 井上 聡
三善分団 班長 矢野 秀明
出海分団 班長 山口 祐喜
家族内助の功労章(1人)
本部副団長 渡部 和久
夫人 渡部美恵子
白尾 公男
浪本 忠則